

福島第一原子力発電所 既設多核種除去設備(A) クロスフローフィルタ二次側絞り弁グランド部からの漏えいについて

< 参 考 資 料 >
2019年11月7日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- 本日(11月7日)午前10時24分頃、既設多核種除去設備(A)の堰内に水たまりがあり、前処理設備であるクロスフローフィルタの二次側絞り弁(2箇所)のグランド部から水が滲み滴下(約10cm×5cm×深さ1mmが2箇所)していることを、協力企業作業員が発見しました。
- 漏えいした水は系統水であり、当該弁の増し締めを行い、滲みが停止したことを午前11時27分に確認しました。滴下した水については拭き取り済です。

C系統の同一箇所の至近の分析結果：全ベータ： 1.17×10^4 Bq/L (10月7日採取)

- 今後、漏えいの原因を調査し、必要な対策を講じてまいります。

